

◆ちょこっとほんの紹介 ～ウィル図書コーナーから～



『共に生きるということ』 緒方貞子／著 PHP研究所



昨年10月22日、緒方貞子さんが92歳で亡くなりました。緒方さんは日本人で初めて、女性として世界で初めての国連難民高等弁務官として、10年間にわたり世界の人道支援、難民支援に携わり、その後も国際協力機構（JICA）の理事長なども務めた方です。その姿をニュース映像でご覧になられた方も多いと思います。

この本はNHKで企画、放送された「100年インタビュー」をもとに再編集したもので、生い立ちから国連での難民支援の仕事まで、緒方さんのインタビューでつづられてとても読みやすくなっています。子どもを育て研究者として仕事をし、今から50年ほど前に41歳で国連という世界に飛び出した緒方さん。緒方さんの生き方や考え方にぜひふれてみてください。

ぽんこ、ひとまず最終回！

< ぽん子のシネマ de ひとりごと > 最終回

フロアだよりに映画の紹介を掲載してから早や4年。遂に最終回を迎えました。今まで紹介後にウィル de シネマで上映した映画もあり、沢山の方に観てもらえ感動の声もいっぱいいただきました！！多くの方に映画の力を感じていただけたのでは・・・と映画好きの私としてはうれしく思っています。



国内外を問わず、映画に限らず、さまざまな芸術を通して人権やマイノリティ支援のための啓発活動を行っているアーティストは、迫害や弾圧に屈することなく、素晴らしい作品を世に送り出しています。これからは素晴らしい作品を「発掘」して、少しでも多くの方に知っていただけるよう陰ながら「里山」から発信し続けたいと思います。

★今、気になっているご紹介したい映画

「his」（2019、日本）2人の青年の恋愛のかたちを題材に、彼らが抱える葛藤と親権獲得や周りの人々への理解を求めて奮闘する姿が描かれている。自身も男性のパートナーとパートナーシップ宣誓をされている南和行弁護士が監修を担当。1月24日より全国ロードショー。ハンカチを準備してぜひご覧ください。映画ってほんまにすばらしい！

by ぽん子

※パートナーシップ宣誓・・・一方または双方が性的マイノリティであるカップルが、お互いがパートナー関係であることをパートナー宣誓制度を実施している自治体で宣誓するもの。その自治体で、一定の範囲で婚姻関係や事実婚に準じたサービスが行われる場合があります。



ウィルは女も男もいきいきと暮らせる社会づくりをめざす枚方市の拠点施設です

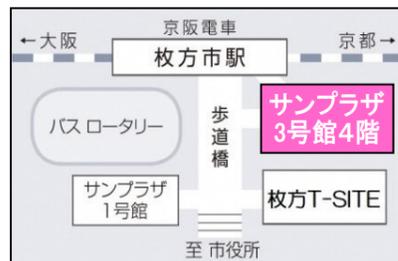
枚方市 男女共生フロア・ウィル

〒573-0032 枚方市岡東町12番3号 ひらかたサンプラザ3号館4階
TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637

E-mail jinken@city.hirakata.osaka.jp
jinken-kouza@city.hirakata.osaka.jp（講座等申込専用）

業務時間 9:00～17:30（土日祝日、年末年始休所）

※ただし、火・木は 20:00 まで、第1土曜日は 9:00～17:30 まで受付



【女性相談のご案内 お問い合わせ申し込みはウィルへ】

- 電話相談（専用電話072-843-7860）火曜日:15:00～20:00 水曜日:13:00～17:00 木曜日:10:00～15:00
- 面接相談（面談 要予約）水曜日:13:00～16:30 木曜日:14:50～19:30 金曜日:10:00～15:00
- 法律相談（面談 要予約 1人1年度1回限り）第1土曜日・第2金曜日:13:00～16:00 第3木曜日:17:00～20:00 第4火曜日:10:00～13:00
- 【男性電話相談】（専用電話072-843-5730）第1土曜日:14:00～17:00 第4木曜日:18:00～20:00
- 【LGBT電話相談】（専用電話072-843-5730）第2木曜日:15:00～20:00

ウィル

枚方市男女共生フロアだより 令和2(2020)年1月発行

明けましておめでとうございます。本年もウィルをどうぞよろしくお願いいたします。

◆ジェンダーギャップ指数◆

昨年末、北欧フィンランドで、34歳の女性首相が誕生しました。新首相が所属する社会民主党はほかの4党と連立政権を組んでいます。夏に党首となる予定の新首相を含め5党の党首は全員女性で、うち4人が35歳以下とのことです。

フィンランドでは、国会議員の46%が女性であり、新内閣では、19人中12人が女性となるそうです。日本の現状とのあまりの違いに愕然とさせられます。

昨年末には、2019年のジェンダーギャップ指数も公表されています。ジェンダーギャップ指数とは、スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が独自に算定したもので、「経済」「教育」「保健」「政治」の4分野の指標から構成された各国の男女格差を測る指数です。その上位順位には北欧の国々が並んでおり、フィンランドは153か国中3位となっています。

一方、日本のジェンダーギャップ指数の順位は、2019年、121位とはるかに低い状況で、世界的に見て、日本社会で女性の地位が低いことがはっきりと表れています。

日本の指数を引き下げている要因は、「経済」と「政治」の分野で男女格差が大きいことです。「経済」分野では、非正規雇用で働く女性が多いこと、管理職の中で女性の割合が低いことなど。「政治」分野では国会議員に占める比率や閣僚の比率が低いことなどがその原因となっているのです。特に「政治」分野では、調査対象の衆議院議員の女性割合が10.1%、閣僚は9月の内閣改造前まで19人中1人の5.3%で、153か国中144位という低さです。

男女の性別役割分担意識がまだまだ強いことが、こうした女性の社会的地位の低さにつながっています。男性が生活や家庭と両立できない働き方を強要される一方で、そうした働き方のできない女性は責任ある立場に就くことが困難であり、加えて育児を支援する社会的制度や、女性の政治参加を促すような制度も整っていない現状が、男女格差を生み出し固定化してしまっているのです。

誰もが自分らしく生きられる社会の実現のため、男女格差の解消は待ったなしの課題です。先進的な国々にも学びながら、粘り強く男女共同参画の取り組みを進めていきましょう。

● contents

- (1) ウィルコラム
- (2) 研修・イベント報告
- (3) イベントのご案内
- (4) 図書紹介、ぽん子のシネマ de ひとりごと他



研修報告

ウィル職員が研修に参加してきました。その報告です。

令和元年度内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」行政職員研修

12月19日～20日、東京都渋谷区にある「東京ウィメンズプラザ」で開催された研修には、全国の男女共同参画担当の職員、とりわけ、性暴力被害者支援センター（ワンストップ支援センター）を設置している各都道府県の担当者が多く集まりました。

国は各都道府県に最低1か所のワンストップ支援センターの設置を目指してきましたが、平成30年10月現在でその目標を達成しました。大阪府には「NPO 法人性暴力救援センター・大阪 SACHICO」が設置されており、枚方市にワンストップ支援センターは設置されていませんが、近年の若年層に対する SNS を利用した性犯罪・性暴力被害が深刻化している現状を受け、若年層の性暴力被害者支援は本市でも取り組むべき課題となっています。

研修の中で最も印象に残った講義は「SNS相談における性暴力被害の実態」です。12月10日から2週間限定で実施された内閣府のライン相談の運営者の方による相談実態の報告は、想像していたものよりはるかに身近で衝撃的なものでした。「#家出少女」「#パパ募集」をパソコンやスマートフォンで検索すると、若い女性（中には男性も）からのメッセージが大量に溢れ出ます。そのメッセージに対応する成人男性により少女たちは被害を受けるのですが、自分たちは被害にあったのだという自覚すらありません。家出やパパ（お金など金品を与えてくれる男性）に頼らざるを得ない彼女たちの本当の困難は社会で早急に考えるべき問題であることを改めて学ぶとともに、SNS相談の意義について見識を深める場となりました。



イベント報告

ウィル・フェスタ2019、開催しました！

昨年9月21日（土）、メセナひらかた会館にて、市と参加グループで構成した実行委員会の企画により、1年に一度のウィルのお祭り「ウィル・フェスタ2019」を開催しました。

当日はあまりお天気にはめぐまれませんでしたが、トランスジェンダーでシンガーソングライターの悠以（ゆい）さんの講演会&コンサート、ディズニー映画「ズートピア」上映会、市民グループによる展示や活動発表、ワンテーブルショップはじめいろいろなイベントにたくさんの市民の方にご参加いただき、盛り上がることができました！



ウィル de オーナー（展示など）



悠以さんコンサート

悠以さんの講演会では、ライフステージごと、また歌手活動を通じて感じた気持ちなどについてお話いただきました。参加いただいた市民の方からは、「当事者の話を聞くことができるとても良かった」「言葉がひとつひとつ伝わってきた」「自分も当事者で、勉強させてもらった」などの感想が寄せられました。

ウィル・フェスタでは、男女共同参画について市民のみなさんとともに考えるきっかけになることを願い、毎年楽しいイベントを企画しています。来年度は11月の開催を予定しています。今回参加されなかった方も、ぜひご参加ください！！

ウィル主催講座・イベント案内

～女性のための基礎から学ぶ 起業セミナー～

① 1月29日（水）

『起業の心構えと実例』

講師：川崎 ますみさん

（枚方市地域活性化支援センター経営支援アドバイザー）

② 2月12日（水）

『起業に必要なお金の話』

講師：高松 留美さん

（枚方市地域活性化支援センター経営支援アドバイザー）

出産や育児のために仕事を辞めてしまったけど、子育ての合間にできる仕事がない！自立するために自分の趣味や特技を活かして事業がしてみたい！ 起業の基礎知識について学び、あなたらしい働き方を見つけませんか？2回連続講座です。 時間はいずれも 午後2時～午後4時
【場所】 サンプラザ生涯学習市民センター（ひらかたサンプラザ3号館5階） 第3集会室
【対象】 市内在住・在職・在学の女性 【定員】 各40人 お申し込みはウィルへ。下記参照。

受付中！

随時受付中！

シングルマザーズ・カフェ 2月1日（土）、3月7日（土）

時間はいずれも午前10時～12時。ウィル交流スペースにて。日ごろの思いを語り合いませんか？ お申し込みはウィルへ。下記参照。

ファシリテーター：坂田 恭子さん（ファミリーポートひらかた子育て支援スタッフ）
【対象】 シングルマザー、シングルマザーになるかもしれない人 【定員】 各15人



ウィル講座「言いたいことが言えない人のための自己主張トレーニング講座」

3月5日（木）午後2時～4時 サンプラザ生涯学習市民センター 第3集会室

「断るのが苦手」「言いたいことが上手く言えない」と悩む場面はありませんか？コミュニケーション能力を高め、お互いを尊重しながらより良い人間関係をつくるための方法を学びます。

【定員】 40人

【講師】 小林 厚志さん（日本メンタルコミュニケーション協会認定トレーナー他）

お申し込みはウィルへ。下記参照。

2月3日（月）から
受付！

【保育】は、各イベント、先着10人。生後6カ月～就学前児（無料。要予約。シングルマザーズ・カフェ以外は各講座の1週間前締め切り）

講座お申し込みは電話等でウィルへ。ファクス・メール申し込みの場合は、名前、電話番号、イベント名、保育の有無を明記してください。参加不可の場合のみご連絡いたします。お申込み先：TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637 E-mail jinken-kouza@city.hirakata.osaka.jp（講座等申込専用）

■配偶者や恋人からの暴力についての相談■

枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」

050-7102-3232（専用電話） 平日 午前9時～午後5時30分

～「DVかもしれない」と思ったら、一人で悩まず相談してください～

ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、親密なパートナーからの暴力のことです。「殴る」、「蹴る」という身体的な暴力のほか、大声でどなったり、無視したりというような精神的に追い詰める暴力もあります。また、行動を監視する行為、性的な暴力もDVに含まれます。

